

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

「ぬいぐるみ」 お泊り会

- ▶チェックイン
12月12日
- ▶チェックアウト
12月15日または17日

12月 図書館カレンダー

2024 年 December						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、図書整理日
- クリスマスお話し会：12月14日 午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索
など図書館の情報を掲載しています▶

■ 図書館 ☎ 029-897-0647



ぬいぐるみたちのお泊り会のご案内

お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせてみませんか？
あなたのぬいぐるみが司書の仕事を見学したり、夜の図書館を
探検したりします。お泊りの様子は、ぬいぐるみのチェックア
ウト時にアルバムにしてプレゼントいたします。

- ▶チェックイン（ぬいぐるみのお預かりは図書館本館のみ）
・12月12日 困
・午後3時から30分程度のおはなし会の後、ぬいぐるみ
をお預かり。または、午前9時～午後6時までの間に
チェックイン（保護者同伴必須）
- ▶チェックアウト（ぬいぐるみのお渡しは図書館本館のみ）
12月15日 困または17日 困 午前9時～午後4時まで
- ▶場 所：図書館本館（霞ヶ浦コミュニティセンター・旧あじさい館内）
- ▶対 象：市内在住の3歳から小学6年生まで ※当事業を未体験の児童に限る
- ▶定 員：10組（1人につきぬいぐるみ1体）
※応募者多数の場合は抽選を行い、図書館ホームページおよび館内掲示
にて、当選者番号を発表
- ▶申込み：図書館本館・分館カウンターにて応募用紙に記入または電話
- ▶締 切：12月8日 困 正午まで



文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会	木洩日のゆらゆらと揺れ水澄めり	水澄むや若き日思ふ墨の香に	水の秋平等院の朱の柱	入賞の菊にたつぶり水そそぐ	水澄めり筑波背にして恋瀬川	水澄めり筑波二峰のきはやかに	紫陽花俳句会	茹で栗に忘れかけてた母のこと	丘の上心洗わるこきあ揺れ	葱白く洗ひたてたる吾寒し	雄鳩や親子して来る秋の庭	出島短歌会	うす明りゆうべの秋の彩りにかすかにそよぐ萩の花むら	入院の窓から眺む満月を我が家に帰るゆくり見たい	戻るとふ術あるならば四十代夫いて子等いて仕事あるころ	この野良は私を何と思ふらん我が枕辺に丸く眠れる	投稿作品	庭先のキンモクセイが甘い芳香を漂わせ暑い夏も終わり初秋の気配	公園でシニア男女がクラブ振る元氣ハッラックグラウンドゴルフ	会場を振るわんに号泣す背負いし期待の重さはかくや	うつ向いて思いに沈む人々に笑顔で語る施設の女よ	酷暑さき季節の移ろい愛でる季この一瞬を心に刻む	秋日和西日を背に唐簪を回す父姿思い浮べる	過ぎし友胸に住みをり星月夜	鋤の柄に汝も一服か赤とんぼ	白衣見て家族の息災ひた祈り	薬ばえと初穀の山に詣映ゆ	秋一浄	中村耕二	兼西清治	竹村啓子	高野新一	沽野はつ子	石塚清	中島良平	矢口哲雄	斉藤勝広	華師寺玲子	仲谷香代子	名倉靚子	岡田恭子	久保庭悦子	島田和子	原田佳世子	福田宏通	飯沼礼子	萩原初枝	中島暉子	鈴木けい子	桜井筑蛙
----------	-----------------	---------------	------------	---------------	---------------	----------------	--------	----------------	--------------	--------------	--------------	-------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------	------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------	---------------	---------------	---------------	--------------	-----	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	-------	------

WEBで投稿
できます



投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。12月5日 困 までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。



歴史 に ふ れ る

筑波山塊の 花崗岩と窯業



▲発掘調査時の松山瓦窯跡



▲松山瓦窯跡で焼かれた瓦

筑波山塊の山々と「花崗岩」

かすみがうら市の西部には、筑波山塊の山々が連なっており、その一部は、花崗岩という岩石でできています。花崗岩は、白っぽい「長石」、透明で灰色に見える「石英」、黒い「雲母」などの鉱物からなる岩石です。ブランド石として有名な「稲田石」や「真壁石」も分類上は同じ「花崗岩」です。花崗岩は、美しく丈夫であることから、古くから建築資材として用いられており、古墳の石室に始まり、古代寺院の礎石、中世以降の石造物などにも使用され、近代には爆発的に需要を伸ばします。筑波山塊の花崗岩を使った著名な建造物は多く、最高裁判所、皇居、国会議事堂、東京駅、日本銀行本店など、枚挙に暇がないほどです。



花崗岩

花崗岩と粘土・古代の窯業

花崗岩は、長い時間をかけ風化を受けると「マサ」という砂になります。そして水と化学反応を起こすことで、やがて粘土になっていきます。この粘土を使って、古くから焼き物が作られてきました。千代田地区では、古代の窯業遺跡が複数見つかり、五反田の一丁田窯跡では須恵器と呼ばれる器や、石岡市貝地に所在した古代寺院「茨城廃寺」の屋根瓦を焼いていました。また、上佐谷の関戸瓦窯跡では下佐谷の古代寺院「下佐谷廃寺」の屋根瓦を、中志筑の松山瓦窯跡では常陸国分寺の屋根瓦を焼いていたことがわかっています。市歴史博物館では、今回ご紹介した瓦などを展示していますので、ぜひご覧ください。

- 次回は、千代田地区の粘土を使った新しい焼き物をご紹介します。📍 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

スポーツで『地域』を元気に

📍 スポーツ振興課
☎ 029-898-9907

スポーツフェアを開催しました！

10月13日、わかぐり運動公園で「2024 市民ふれあいスポーツフェア」を開催しました。当日は秋晴れに恵まれ、延べ1000人近い市民の皆さんがスタッフにより準備された約15のスポーツ種目で汗を流しました。
また、会場ではスタンプラリーを開催し子どもたちは大張り切り！キッチンカーも集まり、一日中楽しめるイベントとなりました。

